

Public Information Furubira

2020[令和2年]

広
報

ふるびら



目次	まちの高齢者施策の未来図	2
	北海道原子力防災訓練	6
	もうすぐ1年生	7
	町の出来事	8
	昨年の火災・救急件数	10
	各種お知らせ	11
	本の海より	12
	いきいきほのぼの文芸など	13

1月30日新入学児童1日体験入学

まちの高齢者施策 の未来図



高齢者福祉施策 重点ポイント①

町立診療所の2階を活用した

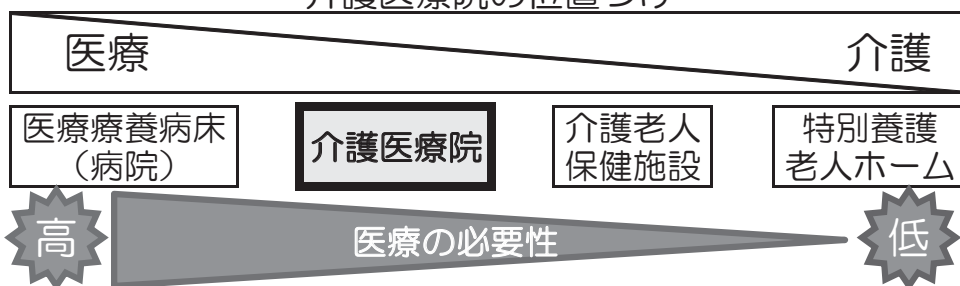
介護医療院の開設

介護医療院とは、2018年4月に誕生した、介護保険法上の新しい入所施設です。

介護医療院は要介護者に対して、『医療』『介護』『住まい』の3機能を提供する施設です。特別養護老人ホーム（以下「特養」と）は違い、医師が配置されており、たんの吸引や経管栄養など医療ニーズの高い要介護者にも対応できます。また、人生の最終段階におけるケア（看取り）を支える役割も担っています。

部屋は、病院の部屋がカーテンで仕切られているのとは違い、パーテーションや家具で仕切られていて、2人部屋であってもプライバシーが守られる点も介護医療院の特徴の1つです。

介護医療院の位置づけ



高齢者福祉施策 重点ポイント②

元気プラザと地域福祉センターを活用した

小規模多機能

居宅介護の提供

小規模多機能居宅介護とは、デイサービスを中心に利用しながら、必要に応じてショートステイやホームヘルプを受けることができるセットメニューのようなもので、介護サービスの一種です。

小規模多機能居宅介護にはさまざまなメリットがあります。

- ① ケアプランを作り直さなくても、必要に応じてデイサービス、ショートステイ、ホームヘルプの3つを臨機応変に選べます。
- ② 1カ月あたりの利用料が定額なので、サービスの使いすぎを心配する必要がありません。
- ③ 契約する事業者が1つなので、お休みする場合などの連絡の手間が少なくてすみずみです。
- ④ 顔なじみのスタッフや利用者との交流がはかりやすいです。

⇒ デイサービスのようす





すべての高齢者やその家族が元気に 安心して暮らせるまちへ向けて

高齢者福祉施策 既存資源の強化①

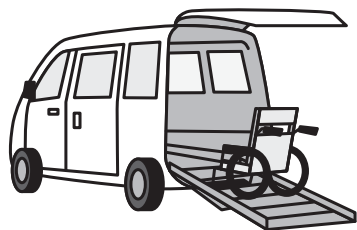
地域支援事業の強化

地域支援事業とは、介護が必要な状態となることを予防するための事業です。具体的には、地域福祉センターの『転倒骨折予防運動教室』や町内3地域での『お達者クラブ』、教育委員会主催の『たけなわ学級』などがあります。

⇒お達者クラブのようす



3年前の介護保険事業計画策定時に行った介護予防ニーズ調査では、古平町の高齢者が運動機能の低下に伴い閉じこもり傾向にあり、地域活動の参加に消極的だという結果が出ています。また、外出の付き添いや送迎サービスがあればいいという声が多くありました。参加者が固定化されている各種事業に新しい方にも参加してもらうことや、町民の方のニーズにあったサービスの提供をめざし、既存の地域支援事業の強化を行います。



高齢者福祉施策 既存資源の強化②

社会福祉

協議会の機能強化

古平町社会福祉協議会では、多くの事業を行っています。独自性がなく活動が形骸化されています。また、町が実施する事業と対象者や実施内容が重なっている面もあります。

そのため、本来の役割である『行政と民間をつなぎ地域の課題解決に結びつけること』を果たすため、社会福祉協議会の機能強化を目指します。

⇒ふれあい昼食会のようす



高齢者福祉施策 既存資源の強化③

ほほえみくらすのあり方を検討

古平高校跡を活用し、平成26年に開設した高齢者複合施設『ほほえみくらす』は、高齢者住宅や障がい者の就労支援の場、食堂など多くの町民がさまざまな目的で利用しています。

しかし、運営は高齢者住宅部分で、他の部分が古平福祉会と別々となっており、他の施策を実現後に町民にとって最適なあり方の検討を開始します。



まちの現状を見直し、その上で適した施設は

特養ではなく介護医療院!!

令和3年度からスタートする第8期介護保険事業計画と第8期古平町高齢者福祉計画の策定に向けて、今年度、古平町では現在の高齢者福祉施策を確認・検証し、サービスは足りているのか、今後どのようなサービスが必要なのかなどについて検討を行いました。

今月号では、前ページから引き続き、今後古平町が目指す高齢者施策の未来図についてお知らせします。まずは、古平町の現状を確認します。

■高齢者数のピークは10年前

古平町の高齢者人口(65歳以上)は、町全体の人口がピーク(1万73人)だった1955年から増加を続け、2010年には1330人とピークを迎えました。2015年からは減少に転じ、25年後の2045年には640人になることが予測されています。【表1】

高齢者割合は、今後も増加傾向が続き、2015年は40.6%、25年後の2045年には55.4%と町民の2人に1人が高齢者となると予測されています。

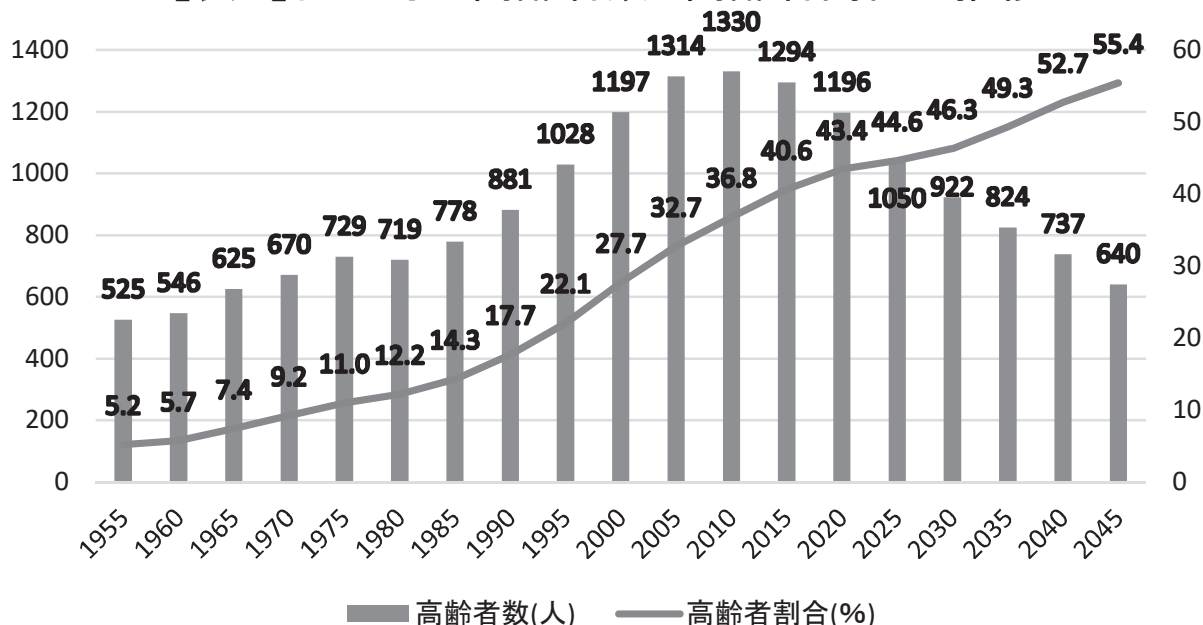
■町のサービス状況

古平町には訪問看護などの医療系サービスはありませんが、余市町などには古平町をサービス提供エリアとしている事業所があります。居宅介護サービスは、ケアプランの作成を行う居宅介護支援や訪問介護、小規模デイサービスなど複数の事業所が提供しています。その結果、選択肢が多くある反面、重複し非効率的ともいえる状況です。

施設としては、グループホームを除けば特養などの施設サービスは町内にはありません。しかし、隣接しているすべての町村に施設サービスが整備されています。

介護予防サービスについては、訪問型サービスと通所型サービスについては、町内で体制を整えています。介護予防計画作成などを行う『地域包括支援センター』は、町直営で実施しています。すべての高齢者が対象の一般介護予防サービスは『健康相談』や『運動教室』、『ふれあい昼食会』などの事業を行っています。

【表1】古平町の高齢者数と高齢者割合の推移



※2015年までは国勢調査数値。2020年以降は推計値（国立社会保障・人口問題研究所より）

?? 国勢調査人口と住民基本台帳人口 ??

人口の表し方は、国勢調査人口と住民基本台帳人口の2種類があります。国勢調査人口は実際に住んでいる人数で、実際の居住者に即した数値です。一方、住民基本台帳人口は住民基本台帳上の人数で、古平町に住所を置いている人の合計数で表されます。広報の裏面の人口は住民基本台帳人口です。

■診療所有床化の必要はない

町立診療所に目を向けると、常勤医は確保を進めている段階で、2階を利用した短期入所療養介護『フレピラ』は今年度から休止しています。診療所の有床化についても模索してきましたが、看護師などの働き手不足などの課題があります。

古平町としては十分な医療機関を持つ余市町や小樽市が近隣にあるため、急性期患者の初期対応を行うことができれば、町民の方に対して医療機関として最低限の役割を果たすと考えており有床化は必要ないと判断しました。

■議会でも質問の多い特養や診療所

過去5年間の古平町議会的一般質問では、特養の必要性等についての質問が計9回、診療所の運営等についての質問も12回あり非常に関心の高い課題です。

■多角的な検討の結果

今の最善策が介護医療院

古平町の現状を再確認し、さまざまな視点で検討した結果、スタッフがいなかった開設することが可能な入院病床や特養ではなく、2つの中間ともいえる介護医療院の開設が最善策であると判断しました。

どうして特養でも入院病床再開でもなく介護医療院なのか？

理由① 人口減少と隣町に存在

隣接する町にはすでに特養が整備されており、古平町の方も入居しています。前のページで触れたとおり高齢者人口が減少している今、施設間での入居者の取り合いが起こり、結果、運営は難しくなります。

理由② 新たな施設が不要

介護医療院は、新しく建物を建てる必要がなく、現在空いている町立診療所の2階の部屋を家具やパーテーションで仕切る程度で開設することができま

理由③ 必要な専門職員が少数

特養の経営には多くの労働者が必要です。しかし、少子化の影響により労働者が急激に減少しており、看護職員や介護職員の担い手確保が難しい状況です。

介護医療院のいくつかの形の中では、必要な職員数が少なくてよい『Ⅱ型の併設型小規模介護医療院』があり、町立診療所にスタッフがいれば、介護医療院開設に当たり必要な専門職が少なくなりま

■近隣の介護医療院

介護医療院は、介護保険法上の新しい施設で、令和2年度までは既存の介護療養型医療施設や介護療養型老人保健施設からの転換が優先されています。

近隣では余市町の中島内科や小嶋内科に併設しています。

■開設のスケジュール

介護医療院の開設は、介護保険事業計画に搭載する必要があることや、国の方針で令和3年度から新規開設が認められていることから、早い段階での開設をめざし進めていきます。

■元氣プラザと地域福祉センター

介護医療院の開設後、元氣プラザと地域福祉センターを一体として利用する小規模多機能型居宅介護の提供の準備を進めていく考えです。

小規模多機能型居宅介護では、介護サービスが無駄なく効率的に提供するために、その人に合った介護サービスの計画を立てる『ケアプラン』に始まり、1つの介護事業者が『デイスタービス』『ホームヘルプ』『ショートステイ』を一体的に行います。また、新たに施設や介護事業者を用意しなくても実施することができ

さらに、24時間365日利用者の生活支援をするサービスのため、より安心して利用できると考えられます。

■介護予防ニーズ調査の実施

来年度には、第8期介護保険事業計画の策定のために、高齢者が古平町で生活するため、何を求め、何に満足しているかを把握する『介護予防ニーズ調査』等を予定しています。皆さんのご意見を伺い、それを高齢者福祉施策に反映することで、すべての高齢者やその家族が元気に安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。

◇お問合せ先

役場保健福祉課（元氣プラザ内）

☎ 42-2182



⇨町立診療所2階のようす

～北海道原子力防災訓練～

原子力災害時の避難の 手順や職員の対応を確認

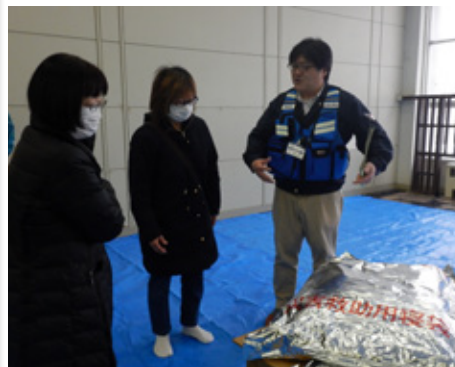


古平町の原子力防災

●原子力防災対策には泊原子力発電所5km圏内のPAZと呼ばれる地域と、30km圏内のUPZと呼ばれる地域があり、どちらに属するかで事態における対応が異なります【表1】。古平町は全域がUPZに属しています。

●万が一避難する場合には、古平町民は一度小樽市総合体育館に避難後、小樽市内のホテルに滞在することになっています。

●オフサイトセンターとは原子力災害時に国・道・市町村・事業者などの職員が集まり対策を練る拠点となる施設。



2月6日と13日の2日間、北海道原子力防災訓練が行われました。初日の共和町オフサイトセンターを中心とした意思決定訓練では、町から職員2名の派遣や町対策本部との通信訓練を行いました。

2日目は古平福祉会の共働の家の道路が雪崩により孤立するという想定での訓練（孤立地域からの陸路避難訓練）と、住民が小樽市総合体育館に避難する（一時滞在場所移転訓練）を行い、有事の際の手順や対応を確認しました。

写真左上

余市町の中央水産試験場での避難退却時検査

写真左

小樽市総合体育館での一時移転場所運営訓練

写真左下

オーセントホテル小樽での講演会

写真下

古平福祉会での孤立地域からの陸路避難訓練



【表1】泊原子力発電所の事態に応じた町の動き

発電所の事態	事態例	PAZ	UPZ
		泊村 共和町	古平町 など
AL 警戒事態	泊村で震度6弱の地震が発生	要支援者の避難準備開始	情報収集など
SE 敷地施設緊急事態	全交流電源喪失	要支援者の避難開始 避難準備開始	屋内退避の準備開始
GE 前面緊急事態	冷却機能喪失	避難開始 安定ヨウ素剤を服用	屋内退避 場合によって避難

下にいくほど事態が悪化

もうすぐ1年生！



小学生になったら何がしたい？

将来の夢をインタビューしました！



ふりがな
名前
小学生になったら？
将来の夢は？



たきの いたる
瀧野 至くん
勉強で100点を取りたい！
サッカー選手



さいとう みなと
齊藤 湊翔くん
勉強を頑張りたい！
警察官



おおやま らん
大山 蘭さん
算数を頑張りたい！
お花屋さん



いとう ゆずか
伊藤 柚花さん
勉強を頑張りたい！
サーティワンアイスクリーム屋さん



いがらし
五十嵐なつさん
体育を頑張りたい！
保育士



ほり じんのすけ
堀 仁之将くん
勉強を頑張りたい！
警察官



ほり ことみ
堀 采海さん
引き算を頑張りたい！
アイスクリーム屋さん



なかの みらい
中野 未来さん
算数を頑張りたい！
看護師



とくた ひなた
徳田 陽向さん
勉強を頑張りたい！テストで100点取りたい！
看護師



たぐち ようじゅん
田口 洋巡くん
国語と算数を頑張りたい！
パイロット



よりた ひな
依田 妃那さん
宿題を頑張りたい！100点を取りたい！
漁師さん



やすだ おとは
安田 乙葉さん
先生のお話をしっかり聞きたい！
ペットショップ店員



みかみ れお
三上 玲夢さん
勉強を頑張りたい！
郵便屋さん



まえかわ このは
前川 心花さん
算数を頑張りたい！
トリマー



ほんま あらた
本間 新汰くん
先生の言うことをしっかり聞きたい！
白バイ隊員

新1年生が完成したブーメランを体育館で投げた後、現1年生が校歌を披露しました。そして「4月に入学するのを待ってるよ!!」と新1年生に呼びかけました。

給食は先生が小学校給食について説明後、保護者と一緒に食べました。メニューはミートソーススパゲッティ、ブロッコリー、鳥肉のから揚げ、白玉りんご。量が多かったのか残している子もいましたが、みんなおいしそうに食べていました。

参加した徳田陽向さんは「スパゲッティがおいしかったし、ブーメラン作りは楽しかった。小学校に入るのが楽しみです」と話してくれました。

図工の授業体験では、ブーメランを作りました。新1年生はお花の柄やキャラクターを描いたり、現1年生はほめたり手伝ってあげたりしていました。

体験入学では今の1年生が、新1年生の手をとり、優しく教室までエスコート。教室では先生の「おはようございます」に、元気に挨拶していました。

古平小学校で今年の春から入学予定の15人が1日だけ小学校生活を体験しました。

小学校1日体験入学



スポンジボールを使った運動のようす

1/24

転倒予防運動教室

運動を継続で日常の動きが改善



地域福祉センターで、高齢者の引きこもり防止や生活機能向上のために転倒予防運動教室が開かれ20人が参加しました。運動教室は全8回の日程で、初回と最後の日にされる体力テストで運動の効果を測ることができます。

参加者は、体をほぐす運動から始まり、約1mの木の棒を使った運動やスポンジボールを使った運動などで普段は使わない筋肉を鍛えていきました。これらの運動を続けると、除雪作業が楽になったり歩き方の改善が期待できます。

参加した寶福福子さんは「いつもテレビを見て運動していますが、足の指の運動は初めてで楽しかったです」と話していました。



大きな声で堂々と発表する児童

1/29

古平町の未来を考えよう『発表会』

より良い古平町にしていけるために



古平小学校6年生が文化会館で、より良い古平町にするために考えた結果を町長や議長、教育長に伝える発表会が行われました。

児童15人は人口減少や町の伝統、ごみ問題などテーマ別に6班に分かれ、大きな声で緊張を感じさせない立派な発表を行いました。講評で貞村町長は「よく調べよく勉強したと感じました。みなさんの提言を研究していきたいし、これからも新たな提言をしていてほしい」と話しました。

児童を代表し依田那奈さんが「これからも古平町のことを考え、その結果を実践していきたい」と挨拶しました。



古平町防災会議のようす

1/29

古平町防災会議

防災対策の根幹の計画を修正



古平町防災会議が文化会館で開かれ、委員など19人が集まり古平町の防災体制について確認しました。

防災会議は、町の防災体制を記した古平町地域防災計画の修正案について、町が委員に意見を求める場で計画変更のためには必ず開催する必要があります。

開会にあたり貞村町長が「北海道胆振東部地震での大規模停電を受け、大規模停電災害対策計画を追加しております。みなさんの忌憚のないご意見をいただきたい」と挨拶。事務局から、主な計画の変更内容や原子力災害時の避難計画の説明があり、委員は理解を示し変更案は承認されました。

2/3

幼児センター節分の会

迫力いっぱいの鬼に立ち向かう

幼児センターで節分の由来などを学んだり雰囲気を楽しんだりする節分の会が行われました。

手作りのお面をかぶって集まった子どもたちは、「鬼は外、福は内」の意味や恵方巻の由来を学びました。組ごとのお面の説明では、元気よく「髪は毛糸でつくりました」「口にこだわりました」など発表していました。

その後、豆まきの歌や自分たちの心に潜む鬼を退治していると、本物の鬼が登場！果敢に豆を投げている子もいれば、泣いている子もいました。

たいよう組の三上玲夢ちゃんは「鬼が恐くて豆を投げられなかったです」と話していました。



鬼と戦うこどもたち

2/5

古平中学校新入生体験説明会

初めての計算も簡単に正答

古平中学校で4月から入学する児童を対象に新入生体験説明会が行われ13人が参加しました。

初めに本田校長が「中学校は自分と向き合う時間です。自分を変える大きなチャンスでもあるので希望をもって来てください」と新入生に話しました。

その後、3年生の美術、2年生の英語、1年生の数学の授業を見学し中学校の雰囲気を感じていました。数学の体験授業では、まだ習っていないマイナスの計算が4問出題されましたが、みんなすべて正解していました。

最後に生徒会から中学校生活について説明後、部活動を見学しました。

6年生の渡邊凌祐くんは「今日を通じ、ますます中学校に入りたくなりました」と話してくれました。



数学の問題に取り組むようす

2/14

男性の料理教室

身に付く料理の基礎知識

男性の料理技術向上のために、食生活改善推進員会（以下、食改）が文化会館で男の料理教室を開催し町民12人が参加しました。

参加者は食改の方を含む3班に分かれ、『豚のしょうが焼き』や『きのこの味噌汁』など全5品に挑戦しました。調理では、玉ねぎの芯を取らずに切ったり、切り分ける人数を考えずにお刺身を切ったりするごとに、食改の方に指導を受けていました。その後、ボリューム満点の料理をみんなで美味しく食べたり、チョコレートがプレゼントされたりしていました。

会長の斎藤睦子さんは「みなさん美味しかったですか？また来年も一緒に美味しい料理を作りましょう」と挨拶していました。



料理に取り組むようす

古平町の昨年の火災・救急件数

救急出動が大きく減少

表1 火災発生件数

	H27	H28	H29	H30	H31 R 1
北後志	17	14	12	15	20
古平町	3	2	0	※1	2

※ H30の古平町の1件は車両火災

表2 救急出動の状況

		H27	H28	H29	H30	H31 R 1
北後志	出動件数	1,628	1,677	1,638	1,761	1,724
	搬送人数	1,558	1,602	1,562	1,682	1,649
古平町	出動件数	185	201	193	210	157
	搬送人数	172	194	182	199	152



火災発生状況

北後志消防組合が昨年（平成31年及び令和元年）の北後志5町村の火災発生状況と救急出動件数をまとめました。古平町の火災発生状況と救急出動状況をお知らせします。

北後志5町村の火災発生件数は、昨年より5件増の20件。古平町の火災発生件数は2件でした。



救急出動の状況

北後志5町村の救急出動件数は昨年より37件少ない1724件、搬送人数は33件少ない1649件でした。古平町の救急出動件数は過去5年間で一番少ない157件、搬送人数も過去5年で一番少ない152件でした。

大幅に減少した大きな理由は、余市町の消防の救急車両が昨年3月から2台体制となり、余市町への応援が減少したためです。

消防からのお知らせ

●火の用心のお知らせ

北海道のみならず、全国的に火災が多発しており残念ながらその火災によって尊い命が失われることもあります。

今一度、火の取り扱いに注意し、お出かけ前やおやすみ前には必ず火の元の安全を確かめ、町民一人一人が火の用心に対する意識をもって、火災のない町を目指しましょう。

●プロパンガスのガス漏れ事故防止

落雪によりガスボンベの配管が損傷し、ガス漏れ事故が発生する恐れがありますので、次のことに注意してください。

- ・落雪が予想される場所にガスボンベや配管がある場合は、防護柵などを設置する。
- ・屋外のガスボンベは、チェーンなどで転倒防止を行う。
- ・ガスボンベは頑丈な架台に設置し、配管の点検を行う。
- ・落雪などでガス漏れが発生した場合は、速やかに販売店に連絡し近くで火を扱わない。

これらのことに注意して冬期間のガス漏れ事故を防ぎましょう。

◇お問合せ先

北後志消防組合古平支署

☎ 42-20068

国や道などからのお知らせ

自動車税種別割の住所変更忘れずに

自動車税種別割は、4月1日現在の登録に基づき課税される税金です。

- 住所が変わったら変更登録を
次の場合は登録手続きが必要です。
・住所が変わったとき（変更登録）
- ・自動車を売ったとき（移転登録）
- ・自動車を売却したとき（移転登録）
- ・自動車を売却したとき（移転登録）
- ・自動車を売却したとき（移転登録）
- （抹消登録）

令和2年度の自動車税種別割納税通知書を確認にお届けするため、3月中に手続きをお願いします。

■変更登録が間に合わないときは：

札幌道税事務所自動車税部にご連絡いただくか、道税ホームページから自動車税種別割の住所変更手続きをしてください。

◇お問合せ先

札幌道税事務所自動車税部
011-746-1197

法律無料相談のご案内

毎月第3水曜日に無料法律相談所を開設しています。金銭、不動産、家事等の法律問題を札幌弁護士会所属の弁護士が相談に応じます。

○日時 3月18日(水)13～16時

○場所 余市町中央公民館2階

※相談は1人30分まで。要事前予約

◇お問合せ先

余市町役場総務部総務課行政係
0135-21-2111

各種自衛官を募集します

自衛官候補生及び一般曹候補生（男子・女子）、予備自衛官補（一般・技能）、一般幹部候補生（一般・歯科・薬剤）、医科・歯科幹部を募集します。自衛官候補生及び一般曹候補生の採用年齢が18歳以上33歳未満になりました。

◇お問合せ先

自衛隊札幌地方協力本部
小樽地域事務所
0134-22-5521

余市税務署より「確定申告」

■確定申告開場開設期間など

申告書の作成には時間がかかりますので、なるべくお早目にお越しください。なお、会場の混雑状況により受付を早めに締め切ることがあります。

○開設期間 3月16日（月）まで

○受付時間 9～16時まで

○場所 余市税務署3階会議室

○その他

- ・譲渡所得及び贈与税に関する申告相談を希望される方は、3月4日から3月6日の期間中にお越しください。
- ・駐車場は混雑しますので公共交通機関をご利用ください（土日祝休み）。
- ・申告会場にお越しの際には、「前

年の申告書控え」、確定申告に必要な書類及び印鑑をご持参ください（「確定申告のお知らせ」が届いている方は合わせてご持参ください）。

・確定申告書は、国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」で作成し、e-Tax（電子申告）で送信または印刷して郵送等で提出ができます。

・1年間の所得が「給与所得」や「年金収入・副業等の雑所得」のみの方はスマートフォンやタブレットから「確定申告書作成コーナー」にアクセスすることで、「スマホ専用画面」をご利用できます。

■申告書・届出書等の提出

①郵送提出の場合

申告書・届出書等を郵送される場合は、次の宛先をお願いします。

〒047-8588 小樽税務署内「申告書等集中処理担当部署」宛

②窓口提出の場合

窓口で提出は余市税務署総合受付もしくは小樽税務署内「申告書等集中処理担当部署」へお願いします。

③e-Taxでの提出の場合

e-Taxで提出される場合は、余市税務署を選択の上、送信願います。

■消費税の課税事業者の方は、軽減税率制度により区分経理が必要です。軽減税率の対象品目の取引がある課税事業者の方は、日々の経理で、売り上げや仕入れ（経費）を税率（軽減税率（8%）・標準税率（10%）の異なるごとに区分して記帳する

「区分経理」を行う必要があります。また、課税事業者の方が、仕入税額控除の適用を受けるためには、区分経理をした帳簿及び区分記載請求書等の保存が必要です（区分記載請求書等保存方式）。

■国税の納付はキャッシュレスで
国税の納付には様々な方法があり、次のキャッシュレス納付は、簡単便利に納付できますのでご利用ください。

振替納税 事前に税務署または金融機関に届け出ること、振替日に預貯金口座から自動的に納付ができます。なお、一度手続を行えば継続してご利用が可能です。

クレジットカード納付

パソコンやスマホ等から「国税クレジットカードお支払サイト」（左記参照）にアクセスし、必要事項を入力するだけで納付ができ、事前の届け出は必要ありません。なお、納付税額に応じた決済手数料がかかります。
(<https://kokuzei.noufu.jp>)

その他の納付手段

QRコードを利用したコンビニ納付・ダイレクト納付・電子納税等、ご自身にあった納付手段を選択できます。詳しくは「国税庁ホームページ」（左記参照）をご確認ください。※QRコードは（株）デンソーウェブの登録商標です。
(<http://www.nta.go.jp>)

◇お問合せ先

余市税務署
0135-22-2093



本の海より

～話題の新しい本入りました 新着図書案内～

～文学～

熱源	川越宗一
沈黙のパレード	東野圭吾
ライオンのおやつ	小川 糸
三鬼 三島屋変調百物語四之続	宮部みゆき
巡礼の家	天童荒太
不時着する流星たち	小川洋子
大名倒産 上・下	浅田次郎
風間教場	長岡弘樹
まち	小野寺史宜
グッドバイ	朝井まかて
風神雷神 上・下	原田マハ
流浪の月	風良ゆう
Iの悲劇	米澤穂信
線は、僕を描く	砥上裕將
如何様	高山羽根子
暗約領域 新宿鮫Ⅱ	大沢在昌
ノースライト	横山秀夫
メディウム 霊媒探偵城塚翡翠	相沢沙呼
トヨタミの野望 小説・巨大自動車企業	梶山三郎
屍人荘の殺人	今村昌弘

～生活・その他～

一切なりゆき	樹木希林
ファクト フルネス	ハンス・ロスリング
気がつけば、終着駅	佐藤愛子
長生きにこだわらない	矢作直樹
偽善者たちへ	百田尚樹
大人のカタチを語ろう	伊集院静
俺か、俺以外か。ローランドという生き方	ROLAND
シンプルに暮らそう！ソロー「森の生活」を漫画で読む	ヘンリー・デイヴィッド・ソロー
男の子の「自己肯定感」を高める育て方	柳沢幸雄
役所は教えてくれない定年前後「お金」の裏ワザ	荻原博子
医者が教える正しい病院のかかり方	山本健人
ケーキの切れない非行少年たち	宮口幸治
朝10分でできるスープ弁当	有賀 薫

文化会館図書室に新しい本が入りました。第162回直木賞受賞作家川越宗一著「熱源」東野圭吾著「沈黙のパレード」小川糸著「ライオンのおやつ」樹木希林著「一切なりゆき」など話題の本を取り揃えております。ぜひ、お越しください。



～児童書・絵本～

5分後に意外な結末	1 赤い悪夢
5分後に意外な結末	2 青いミステリー
5分後に意外な結末	3 白い恐怖
5分後に意外な結末	4 黒いユーモア
5分後に意外な結末	5 黄色い悲喜劇
5秒後に意外な結末	アポロンの黄色い太陽
5秒後に意外な結末	ミノタウロスの青い迷宮
5分後に意外な結末	e x オレンジ色に燃える呪文
5分後に意外な結末	e x チョコレート色のビターエンド
5分後に意外な結末	e x エメラルドに輝く風景
5分後に意外な結末	e x アクアマリンからあふれる涙
5分後に意外な結末	e x バラ色の、とげのある人生
5分後に意外な結末	e x 白銀の世界に消えゆく記憶
	桃戸ハル編集
	あなたのことがだーいすき
	ヒド・ファン・ヘネヒテン
	てぶくろがいっぱい
	フローレンス・スロボドキン
	いちにちうんち
	ふくべあきひろ
	おしっこちょっぴりもれたろう
	ヨシタケシンスケ
	サッシーのあかちゃんえほんにここに
	サッシー社

道立図書館蔵書ご利用に感謝！！

昨年5月から文化会館図書室活性化のため支援を受けていた道立図書の刊貸し出しが終了します。2月末が返却期限となりますので、未返却の本は至急お返しください。

文化会館図書室より

堀采海さん 書道展特別賞

国際書道協会主催の第51回全国学生書道展（総出品数5494点）が行われ、幼児・一年生部門で6歳の堀采海さんが特別賞三席を受賞しました。

今年1月13日に札幌市民ギャラリーでの表彰式で賞状とトロフィーが贈られました。5歳から習字教室（江城書の会）でお兄さんと真面目に取り組んだ結果の受賞です。三浦先生は「小学生と同じ部で園児が受賞するのはすごいこと、とても嬉しいです」と話していました。おめでとうございます。



3月の休日当番病院

医科

当番医診療時間は9～17時

3月1日（日）

勝田内科皮フ科クリニック

（☎22-3843）

3月8日（日）

中島内科

（☎22-3866）

3月15日（日）

勤医協余市診療所

（☎22-2861）

3月20日（金）

田中内科医院

（☎22-6125）

3月22日（日）

小嶋内科

（☎22-2245）

3月29日（日）

林病院

（☎22-5188）

※夜間については余市協会病院で急患に限り輪番で診療しております。
診療時間 午後6時～翌日午前7時
診療科目 内科、小児科、外科、整形外科



いきいき・ほのぼの文芸

古平町岬短歌会

店先に年の瀬近く松かざり買物客もしばし立ち寄り 行く年や感謝を胸に仰ぐ空明日を夢見て命みつめて 久方に娘と新年を寿ほぎぬ五十年の越し方語りつ 夕暮れの街のさびしさゆつ明かり暖かくなる冬の光りよ 雪止みて鉛色した海静かテトラポットにウミネコ憩つ 正月を娘の家に一人居る足の痛むにお参り叶はづ 大勢で囲むお昼の食卓は何を食べてもおいしく楽し 夫婦としゆるりゆるりと一歩ずつ老いて増す増す元気で生きたし 日捲りの薄くなりつつ年の暮れ来る年も良き平穏願ふ	小山内 いおり 故金子 寿子 斎藤 睦子 坂本 信子 佐々木 とも子 鈴木 時子 田中 香苗 玉谷 美都子 寺田 カツ子
---	--

古平俳句会

朝の日の煌めく海や春立ちぬ 下萌や大地の鼓動始まりぬ 浜風に潮の香まぶし若布干す	がりんこ号甥はテレビの昼の飯 豊漁を願ふ漁夫等に初日の出 もっこ岩朝日がてらす里の春	仲谷 比呂古
岬の波ささくれ合つて春浅し 春の風邪一人の女もて遊び 鶯や糸引くやうな声の張り	渡辺 嘉之	室谷 弘子



インターナショナル餅つきパーティ

文化会館で国際交流協会主催の餅つきパーティが行われました。今年は『少年少女わんぱく王国』と『たけなわ学級』や町内で働く外国の方も参加し約50人が集まりました。開会にあたり浅野恵子会長が「今回6か国の方が参加しています。恥ずかしがらずにお話して、いろんな発見をしてください」と挨拶。用意した餅米は全部で10kg！4回に分けてみんなで手分けして突いたあと、手で丸めていきました。お餅を食べた後は、外国の方に「あけましておめでとうはあなたの国では何て言いますか？」「お正月にどんな食べ物を食べますか？」とインタビューし結果をみんなの前で発表しました。参加した徳田美杜さんは「餅つきは簡単ではなかったけれど楽しかったです」と話してくれました。



ふるびら 元気っ子

町内に住む満1歳になる
子どもを紹介します。
今月号は2月に誕生日を
迎えた子どもです。



ほり おう が
堀 煌雅ちゃん

2月23日生

保護者 凌雅さん
(沢江町) 夏瑚さん

夏瑚さんより

いたずらが大好きな男の子です。

町の人口と世帯数

	前月比
人口	3,004人(－11)
男	1,404人(－1)
女	1,600人(－10)
世帯数	1,750世帯(0)
上記のうち	
外国人	53人(－1)
男	6人(0)
女	47人(－1)

令和2年1月末日現在
住民基本台帳人口

氏名	年齢	死去月日	町内
新 一 本 村 小 金 高 福 た 戸 間 木 田 子 橋 原 良 睦 フ 一 小 金 高 福 子 子 ミ 雄 嶋 子 芳 カ さん さん さん さん さん さん さん さん	85 83 96 89 89 84 69 84 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳	2 2 1 1 1 1 1 1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 6 1 19 17 13 13 7 4	港 新 丸 浜 銀 旭 歌 栄 町 地 山 五 座 町 葉 町

ご冥福をお祈りいたします

